

発行 令和8年2月号

倉掛社協だより

倉掛地区社会福祉協議会

広島原爆養護ホーム 倉掛のぞみ園



公益財団法人広島原爆被爆者援護事業団
開所 平成4年7月1日 5階建 入居定員 300名



皆さん一緒に年末恒例の餅つき大会も行いました



一面に咲き誇る桜は近所の名所



令和8年1月の大雪は銀世界を生みしました

倉掛地区社会福祉協議会 会長あいさつ

立春の候、皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、倉掛地区社会福祉協議会の各種行事の開催に、ご理解・ご協力・ご支援を賜りまして、厚くお礼申し上げます。昨年は猛暑が長引いた事による様々な影響がありましたが、今年は平穏な生活に戻ることを祈っております。令和8年の行事も、皆様との絆を図りながら進めてまいりますので、ご協力とご参集の程よろしくお願い申し上げます。山竹 善昭

倉掛地区社会福祉協議会役員名簿

会 長	山 竹 善 昭
副 会 長	井 手 下 誓 明
事 業 部 長	
副 会 長	野 口 葉 子
事 業 副 部 長	
副 会 長	宗 山 文 子
福 祉 部 長	
福 祉 副 部 長	大 塚 宏 枝
副 会 長	迫 田 光 之
企 画 広 報 部 長	
企 画 広 報 副 部 長	松 本 敏 昭
事 務 局 長・書 記	水 重 善 成
地 域 福 祉 推 進 委 員	
会 計	相 川 孝 之

令和8年度倉掛学区敬老会の案内

日時 令和8年9月21日(月) 敬老の日
午前9時30分～11時30分
場所 倉掛公民館大ホール
年齢 75歳以上で地区内にお住まいの方
主催 倉掛地区社会福祉協議会
共催 倉掛学区自治会連絡協議会
演芸は 倉掛児童館・倉掛小学校児童・同好会等
カラオケなどがあります 皆様お楽しみください



令和8年度公民館まつりの案内

日時 令和8年11月14～15日
午前10時00分～15時00分
主催 倉掛公民館
※ 倉掛地区社会福祉協議会は11月15日に
福祉バザーを行いますので、皆様方にはバザー
用品の出品をお願いします

救急医療情報キット購入のすすめ (200円)

救急医療キットは
家の中のわかりやすい所へ置いておきます
救急車等を要請をしたときに隊員が見て医療情報
の把握が速く病院等への連絡や搬送が速くなり治
療対応も速くなります
かかりつけの病院や普段の服用薬で持病が分か
ります
親族等の連絡もスムーズにできます



緊急用の車椅子貸出があるの知ってますか？

倉掛地区社会福祉協議会には、貸し出し用車椅子
が2台あります
事故や病気等により急に車椅子が必要になった時に
短期利用で貸し出しを行っています
お気軽にご利用してください
申込・相談は 相川理事まで 090-6436-9600



ご希望の方は名簿にある自宅近くの社会福祉協議会の役員に連絡してくださいね

「とらいあんぐる」って知ってますか？



高陽浄水場の前から末光地区に入る小道を下った所にある「たくさんの白いビニールハウス」を見られた方もあると思います。

皆さん「あれ・・・何を作ってるんだろう？」と疑問に思われた方も多いと思います。

実は、

「就労継続支援A・B型事業所」といって障害者の支援を目的として作られた「シイタケ栽培」を行っておられる所です。

社長の 小池宏典 さんは

「利用者が毎日楽しく通所で自分のペースで作業ができる環境」を理念とし資格を持った職員の方が一丸となって運営されています。

「とらいあんぐる」さんは現在、安佐北区と安佐南区で障害福祉サービスとして

就労継続支援A・B型 居宅介護 移動支援 相談支援

児童福祉サービスとして 放課後等デイサービス

自然体験農場 障害児相談支援

介護保険サービスとして 地域密着型通所介護 訪問介護

居宅介護支援

等を行っておられる身近なトータルサポートに取り組む会社です。

以上のとおり、末光の白いビニールハウスは

株式会社トラスティサポート「とらいあんぐる福祉グループ」として障害福祉・児童福祉・高齢者福祉等のトータルサポートを行われている企業の一つで、シイタケ栽培等を行っているのがあの白いビニールテントだったんです。 敬老会の会場に、スポットクーラーを無償で貸し出していただいたのも同所で使用されていたものです。 ありがとうございました。

小池社長 社員の皆様 利用者の皆様 ご協力に感謝します。



倉掛学区『スポGOMIウォークラリー』に参加しました



スポGOMIウォークラリー大会とは町内を競技エリアとして、2～5名でチームを組み1時間の制限時間内にゴミを拾い、その量と質でポイントを競い合うスポーツです。 倉掛学区体育協会

高陽町 「そうだったのか」 シリーズ

三篠川の舟運（しゅううん）について



毛利輝元が天正19年（1591年）広島城の築城にあたって、太田川を利用したことは広く知られている。そのころ、三篠川筋の諸物資は、人馬で下深川湊に集められ、ここから舟に積んで広島に送られていた。その後、徳川幕府に代わり、慶長5年（1600年）福島正則の領国経済成立を目指す政策によって三篠川上流域への舟運の道が開けた。

★ 舟路の開拓

福島正則は下深川村につづいて高田郡三田村まで舟路を延長する計画をたてたが開削が困難なため、実現しなかった。元和5年（1619年）福島正則は改易となり浅野長晟が舟運の開通を積極的にすすめた。寛永9年（1632年）に狩留家村まで、同14年には栗原 同15年柳原、同16年には秋山村まで、三篠川上流の高田郡永田村まで舢舨（舟底の低い浅瀬舟）が通運できるようになった。

★ 諸役銀・運上銀

藩は、これらに対し諸役銀・運上銀の徴収という形態で商品流通や舟運発展の支配と統制を行っており、船改めを実施したり各郡村の船舶の稼ぎ高に応じた所定の舟床銀および諸運上銀を定期的に徴収した。

★ 積荷

藩は下深川村地域を中継基地として上流地域から来た積荷を乗せ換えて城下まで運んだ。積荷は年貢米・商売米・薪炭・割木・鉄・商人の荒荷など、村々各浜の積出しに制限を受けていた。各村に積荷稼ぎの範囲が定められ、他所での積荷や他船が入り込み稼ぐことを厳しく禁止していた。三篠川最上流の井原・長田村の船は、高田郡6ヶ村三谿郡1ヶ村の年貢米、豊田郡久芳村の藩営鑛（やすり）の鉄、近村から出荷される商人の荒荷等を積荷し、三田村久保浜で降ろした。小越村の船は所年貢米、秋山、小越村の割木、有留村から出る鍛冶炭等を三田村久保浜まで送り、三田村の船は、上流の船が下した諸荷物のほか、高田郡下甲立村、以下八ヶ村、三谿郡高杉村以下十ヶ村の年貢米、三田村他三ヶ村の大束割木、市川村他五ヶ村の木炭、三田村・近隣商人の荒荷などを上深川村赤石で降ろした。狩留家村の船は、豊田郡七ヶ村、世羅郡三ヶ村、賀茂・高宮両郡各一ヶ村の年貢津出し米、自村の割木を積み込み、広島まで輸送した。深川村の船は、三田船が積み下ろした諸荷物や世羅郡三ヶ村、高宮郡五ヶ村の年貢米、深川村の割木を積み込み、広島まで輸送した。

参考資料 広島県高陽町史



終わりに



春夏秋冬の四季が夏季と冬季の二つになったように感じる今日この頃です。

今だ収まらない新型コロナウイルスに加えてインフルエンザの流行が心配です。

中断していた各種団体のイベントも平常に戻りつつあります。

皆さまにおかれましては、健康管理はもとより「特殊詐欺」に加えて「火災」などに気を付けてください。

倉掛地区社会福祉協議会は今年も例年どおり出来る限りの催し物を開催する所存です。

皆さまも、ご近所の方をお誘い合わせのうえ各種行事に参加していただければ幸いです。

編集委員会一同